

県内の環境学習関連施設

身近な環境マップをつくろう

フィールドワーク／5時間
ワークシート No.26

- ねらい………テーマを決めてまちを探索し、自分たちの視点でマップを作ることで、住んでいるまちを再発見する。
- 用意するもの…地図・ワークシート・カメラ・筆記用具など

進め方

- 1 1～2時間程度でゆっくり歩いて戻って来られる場所・範囲を定め、出発前に各自テーマ(ごみの散乱、緑や草花の様子、自動販売機、きれいなところ、汚いところなど)を決める 60分
- 2 町に出て調査を始める(ポイントとなる場所を写真に撮ったり、気づいたことをワークシートや地図に記録する) 120分
- 3 調査が終わったら、結果をまとめながら環境マップを作成する 60分
- 4 住んでいる町の環境をよくするためには、自分たちがどうしたらよいか話し合う 60分



指導上のポイント



- 事前にその区域に、危険な箇所がないかチェックしておく。
- テーマごとに数回に分けて調査を行い、総合的なマップを作成するのもよい。
- 福祉や安全についても調査し、行政にまちづくりの提案をしてみるのもよい。

地元学

地元学とは、吉本哲郎氏(当時:熊本県水俣市環境対策課長)によって、提唱され、水俣市で取り組まれ始めたものです。この地元学は、郷土史みたいに学問的にただ地元を調べるものではなく、地元の人が主体となって、自分達が住んでいる地域を見つめ直し、地域の「あるもの(個性、魅力)」に気付き、自分達の力でより良い地域を造って行こうとする取組です。持続可能な地域づくりを進める上で最も基本となる地域(地元)を見つめることから始め、地元を調べ、考え、作り上げていく一連の行為が地元学です。

エコミュージアム

エコミュージアムとは、1960年代後半からフランスで始まった取り組みで、この「エコ」には、「エコロジー(環境)・エコノミー(経済)エコール(学校)」の意味があります。エコミュージアムは、従来の博物館のように展示物を1カ所に集めるのではなく、地域の環境をそれらが本来ある場所で保全し、地域全体を博物館と考え、住民自らが魅力的な地域づくりを行うことで、地域経済の活性化や地域振興を図る取り組みです。

1. 県内の環境学習関連施設

施設名称	所在地等	施設案内	開館時間等
茨城県環境学習センター	水戸市笠原町978-6 (県庁環境政策課内) 029-301-2940	・環境問題に関する図書・ビデオ・パネル等の貸出のほか、茨城県環境アドバイザーの派遣や子どもエコクラブの活動支援を行っています。 http://www.pref.ibaraki.jp/kankyo/	8:30～17:15 土日・祝祭日・年末年始休み
茨城県霞ヶ浦環境科学センター	土浦市沖宿町1853 029-828-0960	・環境に関する調査研究や技術開発のほか、展示施設や環境情報コーナー、交流サロン等を備え、県民の行う環境学習や市民活動の支援を行っています。 http://www.kasumigaura.pref.ibaraki.jp/	9:30～20:00 (火/日は～18:00) 展示室/展示交流広場 10:00～16:30 月曜・年末年始休館
エコフロンティアかさま	笠間市福田165-1 0296-70-2511	廃棄物処理施設を見学できるほか、実際に触れたり体験できる、展示を中心に、ごみと生活の関係を楽しく学習できる場を提供します。 http://www.ef-kasama.or.jp/	9:00～17:00 月～金曜日 (祝祭日・年末年始等除く)
茨城県水戸生涯学習センター	水戸市愛宕町4-1 029-228-1313	・各生涯学習センターでは、様々な講座を開講しているほか、生涯学習に関する情報の提供などを行っています。 ・水戸生涯学習センター http://www.mito.gakusyu.ibk.ed.jp/	9:00～21:00 月曜・年末年始休館
茨城県鹿行生涯学習センター	行方市宇崎1389 0299-73-3877	・鹿行生涯学習センター http://www.lakeecho.gakusyu.ibk.ed.jp/	
茨城県県南生涯学習センター	土浦市大和町9-1 ウララビル5階 029-826-1101	・県南生涯学習センター http://www.kennan.gakusyu.ibk.ed.jp/	
茨城県県西生涯学習センター	筑西市野殿1371 0296-24-1151	・県西生涯学習センター http://www.kensei.gakusyu.ibk.ed.jp/	
エコ・ハウス	鉾田市安塚地先 0291-33-4433	・地球温暖化対策の様々な技術を導入した環境学習施設で、自然観察や体験学習ができます。	9:00～16:30 年末年始休館 入館無料



2. 動植物関係施設

施設名称	所在地等	施設概要	開館時間等
ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	坂東市大崎700 0297-38-2000	・博物館本館は、地球・宇宙・自然・人間と環境などテーマ別の展示があります。 ・野外施設では、里山の自然を体感できます。 http://www.nat.pref.ibaraki.jp/index.html	9:30～17:00月曜休館 入館料(通常期) 520円(大人) 320円 (高校・大学生) 100円(小・中学生) (企画展開催期間中は別料金)
アクアワールド 大洗水族館	東茨城郡大洗町磯浜町 8252-3 029-267-5151	・展示生物数:約580種・6万8000匹を誇る海の総合ミュージアムです。 ・身近な海の生物を標本や映像・実験・観察などを通して楽しく学ぶコーナーもあります。 http://www.aquaworld-oarai.com/	9:00～17:00 年末休館 入館料(大人) 1,800円 小中学生 900円
日立市 かみね動物園	日立市宮田町 5-2-22 0294-22-5586	・広大な敷地に約100種類の動物が飼育されています。 ・県内有数の桜の名所で園内約1000本の桜が観賞できます。 http://www.jsdi.or.jp/~kaminezo/	9:00～17:00(3～10月) 9:00～16:15(11～2月) 年末年始休園 入園料 大人500円 小人100円
かすみがうら 市水族館	かすみがうら市坂 910-1 029-896-0722	・霞ヶ浦に生息する魚を中心に約170種1300匹の淡水魚を見学できる水族館です。	9:00～16:30 月曜・年末年始休館 入館料 大人310円 小中学生150円
淡水魚館	常陸大宮市山方 535 0295-57-6681	・久慈川水域に住む魚を中心に淡水魚なども観賞できる水族館です。	9:00～16:00(3～11月) 9:30～16:00(12～2月) 月曜・年末年始休館 入館料 大人150円 小人70円
茨城県 栽培漁業センター	鹿嶋市平井2287 0299-83-3015	・アワビ・鹿島灘はまぐり・ヒラメ・スズキの種苗生産施設です。 ・展示コーナーがあるほか、魚の観察ができます。 http://business2.plala.or.jp/i-saibai/	10:00～16:00 土日曜・祝日・ 年末年始休館 入館無料 *団体見学要予約
茨城県 フラワーパーク	石岡市下青柳200 0299-42-4111	・花と緑の公園。バラのテラス・ボタン園・アジサイ園など、年間を通じて四季折々の花が楽しめます。 http://flowerpark.or.jp/	9:00～17:00 *季節変動あり 月曜休園 入園料 大人740円 小人370円 *季節変動あり
茨城県 植物園 *熱帯植物館 *森のカルチャーセンター *きのご博士館 *鳥獣センター	那珂市戸4589 029-295-2150	・バラ園・カエデ・西洋シャクナゲなど約600種、5万本の植物が観賞できます。 ・園内には熱帯植物館もあり、ジャングルゾーンなど5つのエリアで構成されています。 http://www.ibaraki-shokubutuen.jp/	9:00～16:30月曜休館 入園料 大人120円 小中学生無料 *熱帯植物館 9:30～16:00 入館料400円(大人) 150円(小人)
水戸市 植物公園	水戸市小吹町504 029-243-9311	・園内にはテラスガーデン・鑑賞大温室・熱帯果樹温室・植物館・芝生園から構成された洋風の庭園です。自然美と人工美の調和した景観が大きな特徴です。 http://www.mito-botanicalpark.com/	9:00～17:00 月曜・年末年始休園 入園料 大人300円 小人150円
国立科学博物館 筑波研究資料センター 筑波実験植物園	つくば市天久保 4-1-1 029-851-5159	・植物の研究施設です。植物園は有料で一般公開中です。植物園内では日本の主な植物や生活に関わりのある植物、世界の熱帯やサバンナ、半乾燥地域に自生している植物など約3千種類を楽しむことができます。 http://www.tbg.kahaku.go.jp/	9:00～16:30 月曜・年末年始休園 入園料 一般大学生300円 児童生徒 無料

3. 野外観察施設

施設名称	所在地等	施設案内	開館時間等
県民の森	那珂市戸 029-295-2150 (茨城県植物園)	・広大な森林公園で、杉の採種園や松の見本林・散策路が整備されているほか、万葉の森・桜山などのエリアもあります。 ・自然観察員による自然体験ツアーもあります。	8:30～17:00(4/1～9/30) 9:00～16:30(10/1～3/31) 無休,入園無料
奥久慈憩いの森	久慈郡大子町高柴 4164-3 0295-76-0002	・自然や森林・林業について学習できる森林学習館や林業研修センターがあります。 ・森林浴の森として、日本100選にも選ばれています。	8:30～17:00(4/1～9/30) 9:00～16:30(10/1～3/31) 無休,入園無料
牛久 自然観察の森	牛久市結束町 489-1 029-874-6600	・自然環境・観察テーマ等に応じてゾーン分けされ、多彩な観察活動ができます。 ・観察会も実施しています。 http://www.city.ushiku.ibaraki.jp/section/kansatsu/	9:00～16:45(2～10月) 9:00～16:00(11～1月) 月曜・年末年始休園 入園無料
国営ひたち 海浜公園	ひたちなか市馬渡 字大沼605-4 029-265-9001	・公園内の自然環境を活用した各種の環境学習プログラムがあります(事前申込が必要)。 ・「ひたちなか自然の森」セルフガイドマップでも一人でも観察することもできます。 http://www.hitachikaihin.go.jp/	9:30～17:00 *季節変動あり 月曜・年末年始休園 入園料 大人400円 小人 80円
子どもいき いき自然体 験フィールド 100選		・身近な地域で、自然とのふれあいや野外体験活動にふさわしい100カ所のフィールドを紹介しています。 http://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/sizen/100sen/100sen.htm	

～こどもエコクラブ～

1. こどもエコクラブとは?

「こどもエコクラブ」とは、幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動クラブのことです。地域や学校等における子どもたちの主体的な環境学習・実践活動を支援するため、平成7年度から環境省が実施している事業で、全国で多くのエコクラブが環境活動に取り組んでいます。

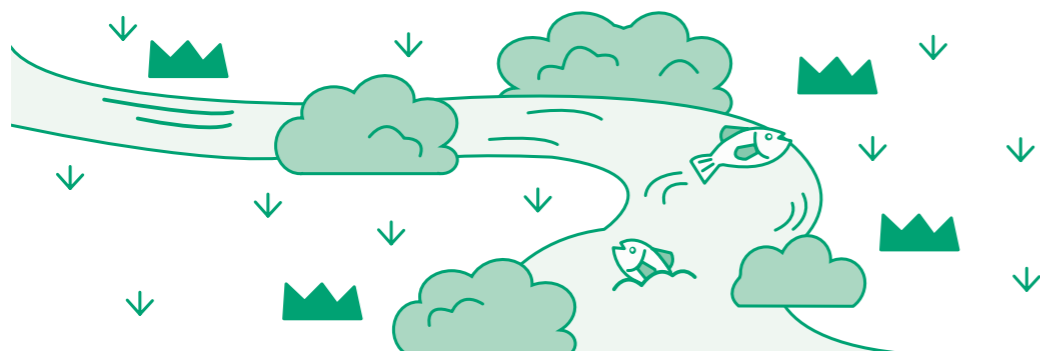
- ・全国事務局：(財)日本環境協会(環境省から委託)
- ・茨城県事務局:茨城県生活環境部環境政策課

2. 登録方法

- (1) 対象:幼児から高校生まで誰でも登録することができます。
- (2) 人数:数人から30人程度(特に人数制限はありません)
- (3) サポーター:こどもエコクラブには、事務局との連絡等を担当し、クラブの活動を支える大人(サポーター)が1名以上必要です。
- (4) 会費等:入会金・登録料は無料です。
- (5) 窓口:所定の登録用紙に必要事項を記載し、各市町村の窓口(環境担当課など)に提出してください。
- (6) 受付:1年中いつでも受付を行っています。

4.「水」に関する施設

施設名称	所在地等	施設概要	開館時間等	
大洗わくわく科学館	東茨城郡大洗町 港中央12 029-267-8989	・対流や津波など自然現象の実験装置が設置されています。 ・海底、海上、海底資源コーナーに分かれて学習できます。 http://www.jaea.go.jp/09/wakuwaku/	10:00~16:30(通常) 10:00~18:00 (7/16~8/31) 月曜・年末年始休館 入館無料	
霞ヶ浦ふれあいランド	行方市玉造甲 1234 0299-55-3927	・水に関することが実験装置等で学べる水の科学館や展望塔・玉のミュージアム、親水公園などがあります。 http://www.city.namegata.ibaraki.jp/fureai	9:30~16:30 月曜・年末休館 入館料 大人600円 小人300円	
県の水道事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事務所や浄水場では、生活に不可欠な水道用水を供給しています。 ・活性炭を主とした高度浄水処理を行っています。また、浄水の際に発生する浄水発生土は、セメントの原料や園芸用土などとして有効に活用しています。 ・詳しくは県企業局のホームページを御覧ください。 (http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/kigyuu/index.htm) *見学をご希望の場合には、各事務所にお申し込みください。 			
	県南水道事務所 土浦市大岩田町 2972 029-821-3945	利根川浄水場 取手市小文間80 0297-73-5651	阿見町浄水場 稲敷郡阿見町追原 2586 029-889-2330	鹿行水道事務所 鹿嶋市宮中 3761-1 0299-82-1121
	鱒川浄水場 鹿嶋市鱒川234 0299-83-2551	県西水道事務所 筑西市辻2382 0296-37-7402	新治浄水場 土浦市本郷1839 029-862-4485	水海道浄水場 常総市大塚戸町 1956 0297-27-1410
	県中央水道事務所 那珂市豊喰685 029-295-1545	涸沼川浄水場 笠間市平町1100 0296-78-1001		
	県東水道事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭や工場から排出される汚水の処理を行っている施設です。 ・汚水の中に空気を送り、微生物の力を利用して浄化する「活性汚泥法」という方法などにより、汚水処理を行っています。 ・詳しくは県下水道課のホームページを御覧ください。 (http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class12/) *見学をご希望の場合には、各事務所にお申し込みください。 		
	那珂久慈流域 下水道事務所 たちなか市長砂163-8 029-285-7760	霞ヶ浦流域 下水道事務所 土浦市湖北2-8-1 029-823-1621	利根流域 下水道事務所 北相馬郡利根町布川3番割 0297-68-3301	
	県西流域 下水道事務所 下妻市中居指933-1 0296-44-9335	鹿島下水道事務所 神栖市北浜9 0299-96-2617		

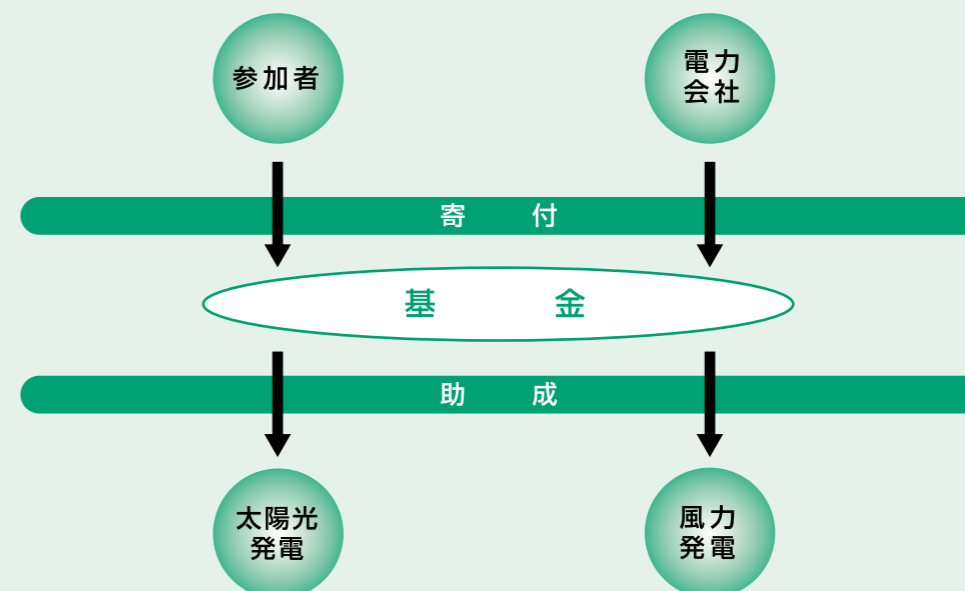


5.エネルギー関係施設

施設名称	所在地等	施設概要	開館時間等
原子力科学館	那珂郡東海村村松 225-2 029-282-3111	・原子力を理解するためのパネル展示やゲーム感覚で楽しむ展示物などがあります。 http://www.ibagen.or.jp/	9:00~16:00 月曜・年末年始休館 入館無料
波崎ウインドファーム 波崎風力発電所	神栖市矢田部十町歩 神栖市豊ヶ浜	・1,250kwの風車が12基設置されています。 ・600kwの風車が2基設置されています。	
里美風力発電施設	常陸太田市里川町 地内 0294-82-4221 *プラトーさとみ内	・600kwの風車が1基設置されています。 ・自然エネルギー展示室があり、パネルの展示や風車模型が見られます。	9:00~17:00 木曜休館
東京電力常陸那珂火力発電所	那珂郡東海村照沼 768-23 029-361-2032	・最新鋭の石炭火力発電所です。 ・発電所の見学や発電のしくみの実験などを行っています。 http://www.tepco.co.jp/hitachinaka-tp/index-j.html	10:00~15:30 事前に予約が必要 (土日祝日、年末年始を除く)
東京電力鹿島火力発電所	神栖市東和田9 0299-86-2331	・総出力440万kWの設備を持つ世界最大級の発電所です。 ・構内の見学やエネルギー講座を受けることができます。 http://www.tepco.co.jp/kashima-tp/index-j.html	9:00~16:30 事前に予約が必要 (土日祝日、年末年始を除く)

～グリーン電力～

毎月100～500円程度を電気料金に上乗せして支払うと、その同額を電力会社も基金に寄付する仕組み。例えば、参加者が100円寄付すると、電力会社も同額の100円をプラスするので、都合200円が基金に寄付されることになります。積み立てられた基金は、地域の自然エネルギー普及に役立てられます。



6.地球,地学関係施設

施設名称	所在地等	施設概要	開館時間等
宇宙航空研究 開発機構 筑波宇宙 センター	つくば市千現2-1-1 029-868-2023 (見学案内事業所)	・日本の宇宙開発の歴史と研究の成果を展示・ 紹介している施設です。 ・ガイドがついた1時間ほどの見学ツアーも実 施しています(要予約)。 http://visit.jaxa.jp/tsukuba/index_j.html	10:00~17:00 年末年始休館 入館無料
日立 シビック センター 科学館	日立市幸町1-21-1 0294-24-7731	・体験できる展示物や,サイエンスショーの表演, 工作コーナー,天球劇場でのライブトークによ るプラネタリウム番組など『遊びながら学べる 科学館』です。 http://www.civic.jp/science/	10:00~18:00 月曜,第一火曜休館 *科学館,天球劇場 入館料 大人510円 小人310円
つくば エキスポ センター	つくば市吾妻2-9 029-858-1100	・様々な科学技術を展示,紹介している施設です。 ・隕石の実物や月面車,世界最大級の大きさの プラネタリウムなどがあります。 http://www.expocenter.or.jp/	10:00~17:00(2~11月) 10:00~16:00(12~1月) 月曜,毎月最終火曜休館 入館料 大人300円 小人150円
アストロ さとみ	常陸太田市里川 863-35 0294-82-4221	・里美カントリー牧場の敷地内にある天体観測 施設です。 ・晴天ならば昼間に太陽の観測もできます。 http://www.satomi.or.jp/kanko/asutoro.html	10:00~15:30 夜間は水・土曜日 19:00~21:00 *季節変動あり 木曜,年末年始 休館 入館料 大人300円小人150円
産業技術総合 研究所サイエ ンス・スクエ アつくば	つくば市東1-1-1 029-862-6215	・「近未来・体感」をコンセプトに,最先端の研 究開発に関する情報端末や多くの体験コーナ ーを設けています。 http://www.aist.go.jp/aist_j/exhibition/index.html	9:30~17:00 月曜,年末年始休館 入館無料
つくばサイ エンスツア ーオフィス	つくば市吾妻1-10-1 (つくばインフォメーション内) 029-863-6868	・筑波研究学園都市に立地する研究機関等の 見学モデルコースの設定や見学相談等に対 する情報提供を行っています。 http://www.i-step.org/tour/	9:00~17:00 年末年始休業



検索
総合

環境学習に役立つホームページ集

EICネット

<http://www.eic.or.jp/>

(独)国立環境研究所,(財)環境情報普及センター

エネルギー・リサイクル・自然など環境にまつわる情報を網羅しているほか,質問ができる「環境Q&A」もあります。

環境goo

<http://eco.goo.ne.jp/>

環境に関する情報を提供しており,これらの検索ができます。

学習支援

環境教育・環境学習データベース

環境省・文部科学省

<http://www.eeel.jp/>

教員や指導者向けに,環境教育・環境学習のプログラム・実践事例・指導計画や環境問題に関する解説・地域情報・学習支援情報などを提供しています。

(財)日本環境協会

<http://www.jeas.or.jp/>

環境学習教材の頒布・貸出を行う他に,こどもエコクラブ・地球温暖化防止活動推進センター等を紹介しています。

(社)日本環境教育フォーラム

<http://www.jeef.or.jp/>

環境学習を支援するために,情報の提供や教材の紹介を行っています。

環境学習ネットワーク

東京学芸大学

<http://fsifee.u-gakugei.ac.jp/eilnet/>

環境学習や体験学習のプログラムを掲載しています。また,学習した結果や感想などの公表も行っています。

グローブ・ジャパン

グローブ日本中央センター

<http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/globe/>

「環境のための地球学習観測プログラム」として,学校を基礎とした国際的な環境教育のプログラムを紹介しています。

エネルギー

(財)省エネルギーセンター

<http://www.eccj.or.jp/>

家庭できる簡単な省エネ方法や工場の省エネの取組事例のほか,書籍・啓発品の紹介を行っています。

(財)新エネルギー財団

<http://www.nef.or.jp/>

新エネルギーについて分かりやすく解説しています。

エネルギー環境教育情報センター

<http://www.icee.gr.jp/>

学校や家庭におけるエネルギー環境教育を進め,教材やイベントなどを紹介しています。

ごみ・リサイクル

(財)クリーン・ジャパン・センター

<http://www.cjc.or.jp/>

ごみとリサイクルについて幅広い情報が入手できます。こども向けの学習ページから,統計資料まで掲載しています。

菜の花プロジェクトネットワーク

<http://www.nanohana.gr.jp/index.php>

菜の花を中心とした資源循環型社会の地域モデルづくりのための活動を行い,それらの活動報告や事例の紹介が掲載されています。

グリーン購入

GPN グリーン購入ネットワーク

<http://www.gpn.jp/>

グリーン製品の情報や、イベント・家庭での取り組みの情報を掲載しています。

自然

WWFジャパン

<http://www.wwf.or.jp/>

国際的な自然保護組織であるWWFジャパンが、その活動と野生生物・地球環境問題について分かりやすく解説しています。

レジャー

エコツアー総覧

<http://ecotourism.jp/>

全国のエコツアーや体験プログラム、宿泊施設や交通機関のエコツーリズムに向けた取り組みを紹介しています。

NPO法人日本エコツーリズム協会

エコビジネス

(財)日本規格協会

<http://www.jsa.or.jp/>

JIS規格、ISO規格など各規格の最新情報とともに、企業のマネジメント情報も掲載しています。

研究

(独)国立環境研究所

<http://www.nies.go.jp/index-j.html>

環境問題を幅広く研究しており、調査・研究結果の詳細なデータを掲載しています。

地球環境研究センター

<http://www-cger.nies.go.jp/index-j.html>

地球環境に関する調査・研究結果の詳細なデータを掲載しています。

(独)産業技術総合研究所

<http://www.aist.go.jp/>

産業技術、テクノロジーの研究成果や、環境配慮の最新技術を紹介しています。

茨城大学

<http://www.ibaraki.ac.jp/>

茨城大学の研究・教育活動の紹介や公開講座・生涯学習の案内などの情報が充実しています。

筑波大学

<http://www.tsukuba.ac.jp/>

筑波大学の研究・教育活動の紹介や生涯学習や産学官連携の情報を掲載しています。

NPO・団体支援

地球環境パートナーシッププラザ:GEIC

<http://www.geic.or.jp/geic/index.html>

環境に関する情報の発信、NPO支援、パートナー支援などを行っています。

NPO法人環境リレーションズ研究所

<http://www.env-r.com/>

環境における様々なリレーション(関係)の構築を目的とし、メールマガジンの発行や掲示板を設置しているほか、環境コンサルタントのアドバイスも得られます。

茨城NPOセンター・コモンズ

<http://www.npocommons.org/index.shtml>

茨城県におけるNPO活動の促進を目的として、県内の市民団体等の紹介や助成金の情報を提供しています。

国

環境省

<http://www.env.go.jp/>

環境省の事業を中心に法律・方針・統計を載せています。また、子ども向けのホームページも充実しています。

経済産業省

<http://www.meti.go.jp/>

資源・リサイクル・エネルギーに関する事業の情報が載っています。子ども向けのホームページもあります。

気象庁

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

日本の気象情報に加えて、気候や海洋、地球環境について幅広い情報を提供しています。

茨城県

環境いばらき

<http://www.pref.ibaraki.jp/kankyo/>

茨城県の環境情報の専門サイトで、県の環境施策に加えて、環境学習のための情報をコンテンツに掲載しています。

環境保全茨城県民会議

<http://www9.plala.or.jp/eci/top/toppage.htm>

広域団体、事業者、NPO法人等で、構成する環境保全運動を行う公益団体で、情報交換のための掲示板が設置され、県内の環境情報を集めることができます。

大好きいばらき県民会議

<http://business2.plala.or.jp/daisuki/welcome.html>

福祉社会づくり、生活環境づくり、人づくり、茨城の風土づくりを柱に、各種の県民運動を推進しています。HPでは地域活動団体情報を検索できます。

～茨城県環境学習メールマガジン～

県では、県内の環境情報を集めて、メールマガジンとして発行しています。

●内容

- ・環境イベント
(学習講座、フォーラム、展示会、講演会などのお知らせ)
- ・行政サービス、法律・条例・制度
(補助金、条例・制度についてのお知らせ)
- ・環境保全団体の紹介
(里山の保全、ごみ拾い、子どもたちへの教育などを行う団体の紹介)
- ・市町村の環境情報

●特徴

- ・電子メールで届く雑誌(マガジン)です。
- ・購読は無料です。
- ・メールアドレスがあれば、誰でも読むことができます。

●登録方法

ホームページ「環境いばらき」のニュースのページから登録してください。
<http://www.pref.ibaraki.jp/kankyo/01news/02mail/01.html>

用語解説

エコ・カレッジ	環境学習や環境保全活動の推進に関し、地域、職場におけるリーダーを育成するための県環境政策課が実施している環境講座。
エコ・ショップ	環境にやさしい商品の販売や簡易包装、リサイクル活動に積極的に取り組む小売店舗。県と市町村では、こうした取組を行っている小売店舗を「エコ・ショップ」として認定し、広く消費者にPRしている。
エコ・ビジネス (環境ビジネス)	環境への負荷の低減に役立つ製品やサービス、技術、システム等を提供するような幅の広いビジネス。
エコマーク商品	環境への負荷の少ない商品であることを表示するマーク。(財)日本環境協会が1989年から実施し、消費者に対し商品の環境情報を広く社会に提供し、消費者に環境配慮製品の選択を促進することを目的としている。
エコライフ	省エネルギーや廃棄物の削減、リサイクルの推進など、環境保全に配慮した日常生活のこと。
温室効果ガス	太陽光線によって温められた地表面から放射される赤外線を吸収して大気を温め、一部の熱を再放射して地表面の温度を高める効果をもつガスのこと。
環境家計簿	家庭を中心とした暮らしの中で環境に及ぼす生活行動を自ら点検し、診断していくための家計簿。
環境報告書	事業者が経営責任者の緒言、環境保全に関する方針・目標・計画・環境マネジメントに関する状況、環境負荷の低減に向けた取組状況等について取りまとめ、一般に公表するもの。
環境 マネジメント	環境に関する経営方針・計画を立て、実施し、点検し、是正するというサイクルを体系的・継続的に実行していくことにより、企業等の組織が環境に与える影響を改善するための仕組みのこと。
環境ラベル	環境への負荷の少ない製品などの使用を促進するため、商品などに与えるマーク。わが国ではエコマークとして実施している。
京都議定書	平成9年(1997年)に京都で開催された「気候変動に関する国際連合枠組条約第3回締約国会議(COP3)」において採択され、締約国における2008~2012年にかけての温室効果ガス排出量の削減目標が定められたほか、吸収源の取扱い、排出権取引、クリーン開発メカニズムなどの基本的考え方が決められている。
グリーン購入	製品やサービスを購入する際、必要性を十分に考慮し、価格や品質、利便性、デザインだけでなく環境への配慮から、環境への負荷の少ないものを優先して購入すること。
グリーン・ ツーリズム	農村地域において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。
酸性雨	工場や自動車から出された硫黄酸化物や窒素酸化物の大気汚染物質が雨水に取りこまれて強い酸性を示す雨のことをいい、一般にはpHが5.6以下をいう。

循環型社会	製品等が廃棄物となることが抑制され、製品等が廃棄物となった場合には再利用、再生利用、熱回収などの循環的な利用が促進され、循環的な利用が行われない場合は適正な処分が確保されることにより天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会のこと。
新エネルギー	新エネルギーとは、従来使っていた石油、石炭、天然ガス、原子力、水力などのエネルギーに対し、今後研究開発・導入が図られる新規開発エネルギーをいう。
生態系	ある地域におけるすべての動植物や気候や土壌などのつながりのこと。これらの中では、様々なエネルギーや物質の循環が行われ、すべての構成要素が役割を果たし一つの機構(システム)を構成している。
生物の多様性	すべての生物の間の変異性をいうもので、「生態系の多様性」「種間の多様性」「種内の多様性」の3つのレベルの多様性をいう。
ゼロ・ エミッション	産業界における生産活動の結果排出される廃棄物をゼロにして、循環型産業システムを目指し、全産業の製造過程を再編成することにより、新しい産業集団を構築しようとする国連大学が提唱している構想。
地球温暖化	化石燃料の燃焼等の人間活動の拡大に伴い、大気中の二酸化炭素等の温室効果ガス濃度の上昇に伴い、地球の平均気温が上昇すること。地球温暖化により気候変動や海面上昇等が起こり、生活環境や生態系への大きな影響を及ぼすことが懸念されている。
地球環境問題	環境問題のうち、原因や影響が国際的に広がっているもの、又は、国際的な対策が必要なものをいい、通常、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、森林の減少、野生生物の減少、砂漠化、海洋汚染、有害廃棄物の越境移動及び開発途上国の公害問題の9つに分類される。
地産地消	地域生産地域消費の略。消費者にとっては近くで作られているものを消費する(食べる)、生産者にとっては食べる人の近くで作る、という意味。
ビオトープ	生物を意味するbioと場所を意味するtopeとの合成語で、動植物が生息する空間。
富栄養化	海洋や湖沼において、有機物による水質汚濁その他の影響で栄養塩類(窒素、りん等)が多くなることにより、プランクトンが増加し透明度が小さくなる現象。
ライフスタイル	人間が日常の生活や活動を行うときの様式(生活様式)のことで、ここでは主に資源やエネルギーの消費、ごみの廃棄などを指す。近年の環境問題の解決には、ライフスタイルを環境に配慮したものへと見直すことが重要とされている。
BOD (Biochemical Oxygen Demand)	水中の有機物が微生物により分解されるときに消費される酸素の量をいう。一般にBODが大きいと、その水の有機物による汚濁が進んでいることを示す。BODは河川の水の汚染状況を表わすのに用いられる。
COD (Chemical Oxygen Demand: 化学的酸素要求量)	水の汚染度を示す重要な指標であり、数値が高いほど、汚染が進んでいる。CODは海域及び湖沼の水の汚染状況を表わすのに用いられる。
ISO14001	国際標準化機構(International Organization for Standardization)が定めた国際規格で、環境マネジメントシステムの代表的なもの。